

～BANDO優良品の特長編 Vol.5

■最近需要が増えてきている「（補機用）オートテンショナ」とは？■

従来は1つのエンジンにベルトを2本～3本使用するのが主流でしたが、昨今はエンジンのダウンサイジング（＝居住性確保/省燃費）の要求が強く、1本で全ての補機を駆動する、「サーペンタイン式ドライブ」と呼ばれるレイアウトが主流になってきています。それに伴い、ベルトのロング化、薄厚化、オートテンショナの採用が増えてきています。

※国内でのオートテンショナの開発・設計・製造が可能なのは、ベルトメーカーとしてはバンドーのみです。

オートテンショナの機能・特長

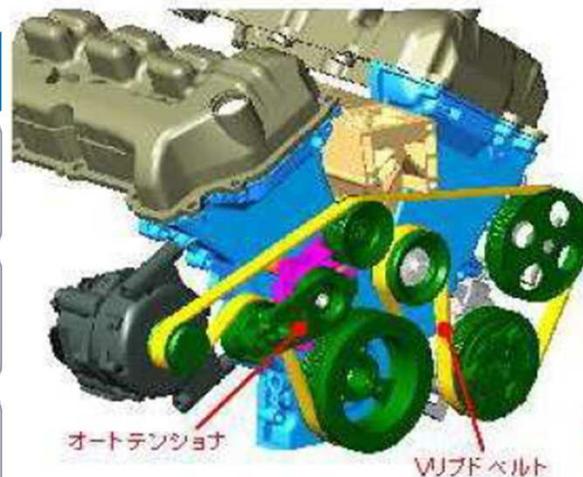
補機ベルトの張力を付与する。
→補機の駆動に必要な最低張力の設定が可能。

補機ベルトの張力を維持する。
→ベルトの張力管理が不要。

補機ベルトの伸びを吸収する。
→ベルトの張り直しが不要。
→市場でのメンテナンスが不要。

補機ベルトの振動を抑える。
→ベルトの変動張力を減衰する。

補機ベルトの取り付けを容易にする。
→ベルト交換工数を低減する。



「サーペンタイン式ドライブ」レイアウトモデル



BANDO優良オートテンショナ

【オートテンショナの交換目安】

- ①プーリや本体に割れ、凹みがある。
- ②プーリがスムーズに回転しない。
- ③オートテンショナから異音がする。

オートテンショナ搭載車の保有台数は増加傾向にあります。交換需要期に向け、着実にラインナップを拡充して参ります。（2014年2月時点で18品番を設定済み）